

信州大学医学部附属病院 形成再建外科に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2023年5月22日

「顔面横裂術後の瘢痕周囲で褐色色素を目立たせる要因は何か」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。
この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、
研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	5843
研究課題名	顔面横裂術後の瘢痕周囲で褐色色素を目立たせる要因は何か
所属(診療科等)	形成再建外科
研究責任者(職名)	杠俊介(教授)
研究実施期間	医学部長による許可日～2027年3月31日
研究の意義、目的	顔面横裂術後の瘢痕周囲で褐色色素が目立つ要因を明らかにすることを目的とした研究で、より目立ちにくい傷跡を形成することに貢献すると考えられます。
対象となる方	1989年1月1日から2019年12月31日の期間に当院で顔面横裂について医療を受けられた方
利用する診療記録／検体	診断名、年齢、性別、身体所見、診療写真/切除組織 など
研究方法	2007年からの術式とそれ以前の術式の手術結果を術後写真で評価し比較検討します。
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 高清水一慶 形成再建外科・助教(特定雇用) 電話: 0263-37-2833

**既存の診療記録、検体結果、組織を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査、
検体の採取の必要はありません。**

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や
学術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。